

安全報告書 2015

この報告書は、長良川鉄道における鉄道輸送の安全確保を図る目的のために実施した結果等について公表するものです。

取組み等について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

お問合せ先

郵便番号 501-3881
住 所 岐阜県関市元重町7 4 番地 1
電 話 0575-23-3921
F A X 0575-23-3927
メールアドレス soumu@nagtetsu.co.jp



平成27年8月1日

長良川鉄道株式会社

安全報告書

【はじめに】

日頃は、長良川鉄道のご利用とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

長良川鉄道は昭和61年12月11日の開業以来、乗客の安全を第一とし、地域の基幹交通として、観光等地域の活性化に貢献する重要な役割をはたしています。

経営理念の第一に安全輸送を掲げ、法令を遵守するとともに、安心・安全な鉄道輸送を引続き心がけてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解頂くために公表するものです。

長良川鉄道（株） 代表取締役社長 日置 敏明

1. 基本方針と安全目標

【基本方針】

社長及び社員は、経営理念の第一は、安全輸送である。このことを十分認識し事業活動を行い輸送の安全を確保する。

社長、役員及び社員等の安全に係る規範は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実に職務を遂行する。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いに努める。
- (5) 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置に努める。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努める。

【安全目標】

長良川鉄道では、鉄道運転事故のゼロを目指して取組んでまいります。

平成26年度強調項目

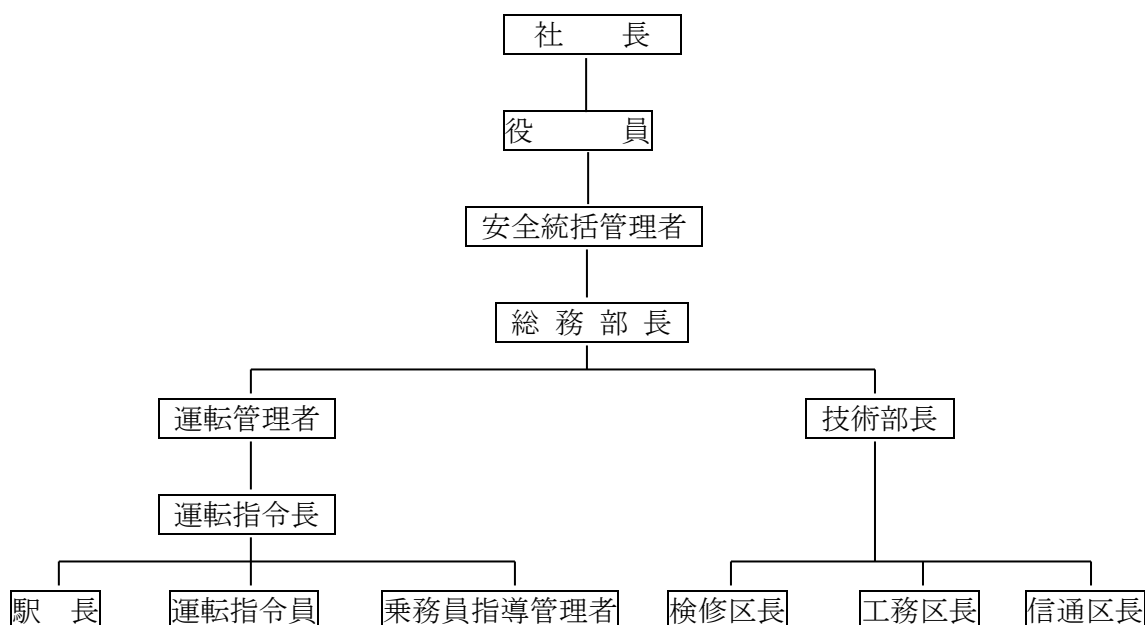
- (1) 運転 基本動作の徹底
- (2) 技術 確認・連絡の徹底と情報の展開・共有
- (3) 営業 増収はひとり一人のセールスで

安全重点施策（2011年～2015年）

項 目	内 容
事故防止	法令遵守・基本動作の励行 マニュアル類の継続的な見直し 安全設備の整備
教育訓練	技術継承・運転士育成 知識・技能の向上 マニュアル類の継続的な見直し
事故・災害等異常時対応	想定訓練の実施 マニュアル類の継続的な見直し・整備

2. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の職務(責務)を明確にしています。



【責任者の役割】

- 社 長 : 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者 : 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- 総 務 部 長 : 輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
- 運 転 管 理 者 : 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
- 乗務員指導管理者 : 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
- 技 術 部 長 : 安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設、車両に関する事項を統括する

3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

平成19年5月9日から運転無事故を継続しています。

(2) 踏切障害事故

平成26年度において踏切障害事故の発生はありませんでした。

過去5ヶ年の踏切障害事故件数は以下のとおりです。

年 度	2010	2011	2012	2013	2014
事故件数	6	1	4	0	1
死傷者	5	0	1	0	0
うち死亡者	3	0	0	0	0

(3) 輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

設備・車両の故障等による輸送障害 11件

降雨・台風・地震による運転規制等自然災害 10件

(4) インシデント(事故の兆候)

平成26年度において、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(5) 行政指導等

平成26年度において、国土交通省からの指示・勧告の指導はありません。

4. 安全確保のための措置

長良川鉄道では、輸送の安全を確保するために、国、県及び沿線市町の支援による、鉄道軌道輸送対策補助事業、鉄道施設安全対策事業、地方鉄道再生計画支

援事業費補助を活用し、設備等の更新、改良に取り組んでいます。

(1) 平成26年度地域公共交通バリア解消促進等事業費補助

(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

計画安全事業 [保守用車両更新]

軌道モーターカー1両(新古車)更新

ラッセル車両1両(中古車)購入

事業費 58,020千円

計画安全事業 [車両全般検査]

ナガラ301・302号

事業費 41,500千円

(2) 平成26年度鉄道施設安全対策事業費補助

(老朽化対策事業費補助)

計画安全事業 [トンネル改修・剥落、漏水等対策]

須原・下平・福野トンネル

事業費 63,000千円

○レールの敷設状況

レール種別	開業時の状況	平成26年度末の状況	敷設割合
50kg	21,396m	48,275m	64.9%
40kg	77m	4,042m	5.4%
37kg	7,968m	1,440m	2.0%
30kg	44,959m	20,643m	27.7%
合計	74,400m	74,400m	100.0%

○コンクリートマクラギ化

敷設実績 敷設本数 25,566本 敷設延長 19,993m 敷設率 27.7%

長良川鉄道では、平成4年度から、保安度の向上(安全性)と保守作業の軽減を目的として、木マクラギからコンクリートマクラギに取替えを行っています。

○踏切改良実績

	第1種	第3種	第4種	合計	廃止踏切
開業時	54	31	67	152	
平成26年度末	90	17	31	138	15

(3) 地方鉄道再生計画支援事業費補助事業

平成16年度から、県・沿線市町のご支援により修繕費を負担して頂いています。

平成26年度は、修繕費総額61,678千円で施設の維持・保守を実施しています。

平成26年度の修繕内訳は以下のとおりです。

- ※ 線路修繕費 24,365千円
各種マクラギの取替え（並・橋マクラギ）
分岐器交換・軌道整備・線路除草等・
- ※ 電路修繕費 17,514千円
ケーブルの取替え・列車無線の法定検査・踏切保安装置補修等
- ※ 車両修繕費 19,799千円
重要部検査・制輪子購入・車輪踏面削正・機関部修繕、部品等購入

(4) 社員教育・人材育成

長良川鉄道では、社員の技術・技能の向上のため、各部門とも年4回の業務研修会を開催しています。

運輸部門

- 第一四半期 5/27～29 (駅・乗務員合同)
実設訓練 非常事故処置訓練 伝令法の実施
- 第二四半期 9/2～4 (乗務員)
9/9～11 (駅)
実設訓練 踏切支障報知器作動時の取扱い
- 第三四半期 11/7～9 (乗務員) 実設訓練 車両故障時の応急処置
12/1～2 (駅) 連結・解放作業の取扱い
- 第四四半期 2/24～26 知識確認テスト・指導通信式訓練

技術部門

- 第一四半期 5/27 伝令法実設訓練
- 第二四半期 8/30 MCR 運転講習会
- 第三四半期 12/5 冬期対策(MC 試運転) 安全概論
- 第四四半期 3/4 新型 PC 枕木交換

- ※ 中部鉄道協会主催の土木・電気・車両講習を受講
- ※ 技術部検修区においては、故障事例に基づき毎月、勉強会を実施

5. 長良川鉄道からのお礼とお願い

- (1) 沿線協力会、住民の皆様には日頃から、沿線美化活動、草刈作業等ご協力していただきありがとうございます。
- (2) 踏切を渡るときは必ず一旦停止し左右の安全を確認してください。
長良川鉄道には138か所踏切があり、そのうち4種踏切が31か所あります。平成26年度、第3種踏切で自動車との衝突事故が1件発生しました。幸い自動車運転手、列車の乗客、乗務員にケガはありませんでしたが、列車の運休、遅延が発生し多くのお客様にご迷惑をおかけすることとなりました。踏切事故防止に皆様のご協力をお願いいたします。